

令和2年度(2020年度)
京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程入学試験問題
語学(日本音楽研究専攻・英語)

1、下の文章は、長唄のアンソロジー(William P. Malm. 2010. *An Anthology of Nagauta*, Ann Arbor: Center for Japanese Studies) から引いた文章です。よく読んで問いに答えてください。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

Aki no Irokusa 秋の色種 / Nambu 南部 / Kineya Rokuzaemon X 十世杵屋六左衛門十世 / Satake Toshinari 佐竹利濟 / *Shiki no Yamamba* 四季の山姥 / *Azuma Hakkei* 吾妻八景 / Kineya Rokusaburo 杵屋六三郎 / *kumiuta* 組歌 / *Kokinshū* 古今集 (古今和歌集) / *Shūishū* 拾遺集 (拾遺和歌集) / *hayashi* 囃子 / *maebiki* 前弾き / *ozatuma* 大薩摩 / *kangen* 管弦 / *sansagari* 三下り

参考 〈秋の色種〉の歌詞

本調子 (前弾 prelude) 秋草の 吾妻の野辺の葱草 ^{しのぶ} しのぶ昔や古 ^{いにし}へぶりに 住みつく里は夏 ^お草ひく

^{あさぶ}麻布の山の谷の戸に 朝夕むかふ月雪の ^{はるつげどり}春告鳥の あとわけて なまめく萩 ^{はぎ}が花ずりの ^{ころも}衣かりがね 声を

帆 ^ほに 上げておろして玉すだれ ^{ほしい}端居の軒の庭まがき うけら紫葛尾花 ^{ともね}共寝の夜半に萩 ^{おぎ}の葉の 風は吹くとも

露をだに すえじと契る女郎花 ^{おみなえし} その暁の手枕に ^{たまくら}松虫 ^{まつむし}の音ぞ (虫の合方 insect interlude) 楽しき

^{へんたいひんぱん}変態續粉たり ^{しん}神なり又神なり新声婉転す **三上り** ^{ふざん}夢は巫山の雲の曲 雲の ^{あけぼの}曙 雨の夜に うつつや袖 ^{そで}

の蘭奢待 ^{らんじゃたい} とめつつつ睦言も ^{むつごと} いつかしじまのかねてより 言葉の真砂敷島の ^{まさごしきしま} 道のゆくての友車 ^{ともぐるま} 暮る

と明くとに通ふらん 峰の松風岩越す波に ^{いわこ}清搔く琴の爪調べ (琴の合方 koto music interlude)

三下り うつし心に花の春 月の秋風ほととぎす 雪に消えせぬ 楽しみは 尽きせじつきぬ千代八千代 常盤

^{かきわ}堅磐の松の色 幾十返りの花にうたはむ

問1、第1段落 (In many ways から the *nagauta* repertory まで) の内容を、日本語で要約してください。(250字程度)。

問2、第2段落 (The composer から unrelated poems まで) を全訳してください。

問3、第3段落において〈秋の色種〉の歌詞は、どのような順序(流れ)で構成されていると説明されていますか。著者の説明を要約してください。

問4、第4段落には〈秋の色種〉の音楽の特徴が記されています。内容に関連する質問を、著者に対して、英語を使って行ってください。質問の長さ・数は自由です。

令和2年度（2020年度）
京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程入学試験問題
日本音楽研究専攻 小論文

下記の1、2の設問に答えてください（日本語で解答してください。語数は自由です）。

1、音楽には理論があります。理論と実践との関わりについて自由に論じてください。

2、日本の伝統音楽は、海外のさまざまな音楽から影響を受けてきました。では将来、日本の伝統音楽は、海外のさまざまな音楽に対してどのような影響を与えうるのでしょうか。自由に論じてください。